

## 平成 27 年度日立市放射線対策連絡会 議事要旨

【日時】平成 28 年 1 月 27 日（水）15:00～16:10

【場所】日立市役所 321 号会議室

【出席委員】梶山座長、田内委員、山口委員、佐藤委員

【市出席】生活安全課長、放射線対策室長、放射線対策室係長

### 【議事】

#### 1 日立市から説明

市内の空間放射線量等の状況等について説明した。

#### 2 委員からの意見等

##### 【市内の空間放射線量等の状況について】

- ・ 市内の空間放射線量については、ほぼ物理的減衰で推移している状況にあるとの見解が述べられた。
- ・ 日立市の指定廃棄物保管量は、県内で一番多い。8,000 Bq/kg を下回っているものについては、指定廃棄物から除外して別な処分方法を考えることも負担軽減につながるのではないかとの意見があった。

##### 【子どもの甲状腺超音波検査について】

- ・ 甲状腺検査については、医師などの検査体制や費用の確保が可能であれば、健康診断の充実の一環として、希望者を対象に補助をすることは良いのではないか。ただし、結果について、福島第一原発事故に伴う被ばく線量と判定の関連性を説明することは科学的には不可能であることや、検査を受けた方に対し、結果について丁寧に説明することが重要である等の意見があった。

##### 【学校等施設における空間放射線量測定について】

- ・ 空間放射線量の現在の状況は平常時に近いレベルであり、測定の頻度等を見直すことについては、科学的には問題ないと考える。その一方で、住民としてはきめ細かく測定結果を把握できた方が安心であることも事実であり、住民のニーズと人的・予算的コストとのバランスを考えながら実施していくのが良いのではないかとの意見があった。